

お金に関する知識を身に付けましょう

金融経済教育



お金や暮らしの知恵を学びましょう！

金融リテラシー（経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な、お金に関する知識や判断力）を身に付けるための教育が「金融経済教育」です。

金融経済教育は、投資や資産形成に関する内容だけではありません。前号で御紹介した「家計管理」や「生活設計」、「金融トラブル（詐欺等）の被害防止」など、幅広い内容を含んでいます。

金融経済教育により金融リテラシーを高めることで、家計を適切に管理できたり、計画的にお金を準備できたり、詐欺や多重債務などの金融トラブルに遭いにくくなったり、様々な利点があります。

金融教育を受けたことのある人はどのくらいいる？

金融広報中央委員会が3年おきに実施している「金融リテラシー調査」という調査があります。わが国における個人のお金の知識・判断力の現状を把握することを目的として実施している調査です。

この調査によれば、学校で金融教育を受けた人の割合は、アメリカで20%であるのに対し、日本は7%という結果でした。

これからの金融経済教育

宮城県金融広報委員会では、各種学校や地域の団体へ講師を派遣し、暮らしに身近なお金の知識を分かりやすくお伝えする取組を行ってきました。

2022年からは、高校の家庭科の授業で金融教育が必修となりました。これから社会に出る若者に適切な知識を身に付けてもらうことで、家計管理や金融トラブルの防止に役立つことが期待されます。

また、2024年4月には、「金融経済教育推進機構」が設立されました。これまで金融経済教育を受ける機会がなかった方も含め、幅広い年齢層に対し、官民一体となって教育の充実を目指していきます。

金融リテラシークイズに 挑戦してみましょう

Q1. 一般的に、「人生の3大費用」といえば、子の教育費、住宅購入費、あとひとつはどれでしょうか。

- ①老後の生活費
- ②医療費
- ③親の介護費

Q2. 金利が上がっていくとき、住宅ローンの借入れをするとしたら、どちらが有利でしょうか。

- ①固定金利
- ②変動金利

次号は、金融リテラシー調査の内容と結果について取り上げます。